

令和2年11月24日

独立行政法人 日本スポーツ振興センター

※この情報は、11月22日 午後5時30分にJSC ウェブサイトに掲載しております。

JSC拠点における新型コロナウイルス感染者の発生について

日本スポーツ振興センター（JSC/東京都港区北青山）が管理・運営する、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC/東京都北区西が丘）の施設利用者（1名）が、新型コロナウイルスに感染していることが11月21日に判明しました。

当該施設利用者は、11月18日から11月21日までHPSC内のナショナルトレーニングセンター屋内トレーニングセンター・ウエスト（NTCウエスト）およびアスリートヴィレッジを利用していました。

これに伴い、当該施設利用者の行動範囲の確認及び保健所の調査を踏まえ、当該施設利用者が使用したNTCウエスト内の専用練習場およびアスリートヴィレッジ内の宿泊していた客室は、11月22日より利用を中止しました。

HPSCでは、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っていることから、先の11月20日に感染者が判明し、現在利用を中止しているNTCイースト内の一部の専用練習場および大浴場を除き、他のHPSC各施設の利用は継続しています。

なお、現時点でHPSCの他の施設利用者、関係者から体調不良の報告はありません。
今後、保健所の指示に従い、適切に対応してまいります。

HPSCでは現在、外部来訪者、職員への施設の入館に対しては、入館時にマスクの着用、手指のアルコール消毒、サーモグラフィーによる検温を行い、チェックシートによる前2週間の体調管理等を行っています。

また、日常的に新型コロナウイルス感染症予防対策に対応した清掃・消毒作業や感染防止策を行っています。

今後も感染拡大防止と、施設利用者、関係者、職員の安全確保を最優先に運営を行ってまいります。

以上